

特別号

2015.5

みづき Mizuki Dayori 便り

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 広報誌

より安全・安心な水道水を 広域水質管理センター 開設

より安全・安心な水道水づくりを目指して、4月に開設した「広域水質管理センター」。その目的や役割について勝山志乃所長に聞きました。



広域水質管理センター
所長

勝山 志乃さん

「水質管理センター」から 「広域水質管理センター」へ

4月、神奈川県内広域水道企業団(以下企業団)「水質管理センター」は「広域水質管理センター」へと生まれ変わりました。企業団が行ってきた

水質管理業務に加え、これまで5つの水道事業体(裏面参照)がそれぞれの計画に基づいて行っていた水源(※)の水質検査と水質事故への対応を当センターで一元的に行おうというもので、県内における、より安全・安心な水道水づくりの“新たなステージのスタート”といえると思います。

開設の目的と新たな役割

水源の水質は、水道水の味や臭い、安全性に大きな影響をおよぼします。また、水源での水質事故は、断水など重大な結果につながる可能性もあります。一元的な管理で水源の監視体制を強化し、水源のトラブルを素早く、的確にキャッチし迅速な対応を目指す、それが当センター開設の大きな目的の

一つなのです。

また、当センターに集約した水源の水質検査、および調査・研究の結果など、さまざまな情報を体系的に蓄積し、それらを各事業体に提供していくことも、当センターに課せられた大切な役割です。

水道水の未来に向けて

「安全・安心」は、企業団の事業活動の大きな柱です。そして、それは多くの水道利用者の切実な願いでもあり、東日本大震災後、水道水の安全性に対する関心は特に強くなりました。

企業団には、暮らしに欠かせない水道水をつくり、各構成団体を通して供給するという使命があります。水源の水質はいわばその原料の品質であり、その管理を担う「広域水質管理センター」の責任はとても重いものです。

検査業務の効率化は当センター開設の目的の一つですが、5つの水道事業体の情報や技術を共有することで、人材の育成や検査技術の向上など、水道水の未来に向けた大きな一歩につながるよう、職員一同頑張りたいと思います。



4月1日には開設式が行われ、企業団議会川口議長のほか各有識者に加えて、神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、および横須賀市上下水道局から多くの方が参加した。主催者として古尾谷光男企業長が挨拶(写真左)し、参加者が臭気測定などを体験した(写真右)。

※水源：企業団の場合、相模川、酒匂川両水系の湖や川のことで、取水口(川などから水道施設に水を取り込む施設)までの部分をいう。ちなみに取水口から取り入れられた水を「原水」、浄水場で浄水処理されたものを「浄水(水道水)」と呼ぶ。

水道水の安全を守るために数多くの検査が行われている。写真は消毒効果などを確認する細菌試験

企業団 NOW

安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて

平成27(2015)年度

予算の概要

水道利用者の皆様の生活基盤と社会経済活動を支えるため、かながわの水道用水供給5か年事業計画の3つの柱「安全・防災・環境」の施策に積極的に取り組みます。また、さまざまな業務効率化などの経営努力を怠ることなく、安全・安心な水道水を安定的に供給するための施設整備事業などを着実に実施します。

さらには、現行の5か年事業計画は、今年度が最終年度であることから、同計画に掲げた諸施策の総仕上げを行うとともに、次期事業計画の策定に向けた準備を進めます。

■用水供給先

神奈川県、横浜市、川崎市および横須賀市

■構成団体への供給予定量

- 年間総供給量 529,722,900m³
(東京ドーム約427杯分) ※前年度比96.3%
- 一日平均供給量 1,447,330m³

■重点施策「安全」「防災」「環境」を柱とした事業運営

- 「安全」～安定した供給体制を持続させるための施策～施設老朽化対策ほか 約81億円
- 「防災」～災害に強い用水供給システムを実現するための施策～地震対策ほか 約33億円
- 「環境」～環境に配慮した用水供給システムを実現するための施策～高効率機器の導入 約0.2億円

■経営基盤の強化

- 健全な財務体質の確立。企業債(地方債)残高の逓減ほか
- 総人件費の抑制を基調として、着実に事業を推進する組織・人員体制の確保

※詳しくは下記神奈川県内広域水道企業団のホームページをご参照ください



「みずき便り」読者のなかから、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみ五湖のブレンド水」340ml缶1ケース(24本入)をプレゼントします。ご希望の方はハガキ、FAXまたはメールで、住所／氏名／電話番号／年齢／職業を明記の上、下記までお寄せください。その際、今号の内容へのご意見・ご感想も忘れずにお願いいたします。
応募締め切り：6月30日(火)必着
応募先：〒231-8445 横浜市中区太田町2-23神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみ五湖のブレンド水プレゼント」係 FAX.045-227-0765 kokoku@kanagawa-np.co.jp
●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0804 までお願いいたします。



編集後記

みずき便りは、今年度から誌面をリニューアルし、今回その第一弾として、特別号を発行しました。いかがでしたでしょうか？

次号以降は、通常号ということでの発行を予定していますが、内容を充実させ、この広報誌を通じて、読者の皆様に水の大切さや水道水ができるまでの当企業団の役割等をお伝えできるよう誌面作りに取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いします。（総務・広報グループ）

神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。

